

公定歩合引上げに関する政策委員会議長談

(昭和54年11月1日)

最近においても国内民需を中心に景気は依然着実な拡大傾向を示している。また卸売物価は依然根強い騰勢を続けており、このところ為替円安がさらに進行するなど物価の先行きは一層懸念される状況にある。金融面ではマネーサプライの伸び率が鈍化するなどこれまでの措置の効果がしだいに浸透しているが、企業金融は全体としてなおゆとりを残している。

以上のような情勢にかんがみ、日本銀行は今後とも物価の上昇を極力抑制するため、本日公定歩合を1%引上げることを決定し、11月2日から実施することとした。

日本銀行としては、本措置が為替相場に対しても安定的な効果をもたらすことを期待している。

日本銀行基準割引歩合および貸付利子歩合の変更

(昭和54年11月2日実施)

- | | | |
|-----------------------------------------------------------------|--------|-----------|
| 1. 商業手形割引歩合ならびに国債、
特に指定する債券または商業手形
に準ずる手形を担保とする貸付利
子歩合 | 年6.25% | (1.0%引上げ) |
| 2. その他のものを担保とする貸付利
子歩合 | 年6.5% | (1.0%引上げ) |